

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	港営部 港営課長	連携担当課
基本施策名	01国際・国内海上輸送機能の強化				
個別施策名	05港湾のコスト・サービス水準を向上する		連絡先	052-654-7871	
事務事業名	01港湾施設等使用料の低減化				

### 1 PLAN(目的・概要)

目的	名古屋港を利用する船社等が低廉な使用料で利用できるようにします。	事業期間	平成11年度～継続
概要	日曜荷役船や大型船等に対して、入港料及び港湾施設使用料の減免を行います。	根拠法令・要綱等	入港料及び港湾施設使用料の減免に関する要綱
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

### 2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・要綱に定めている入港料及び港湾施設使用料の減免を実施しました。 ・22年度においても、21年度に引き続き、名古屋港緊急対策の一環として、総トン数4万トン以上のコンテナ船を対象に、入港料の減免額を拡大しました。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
インセンティブの適用対象隻数	単位	目標	-	3,050	3,089	3,089	3,089	3,089	インセンティブの適用対象となった船舶の隻数を累計します。
	回	実績	3,037	2,916	2,794	3,017			
	単位	目標							
		実績							
事業費	千円	0	0	0	0	0			
人員	正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30		
	嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費相当額	千円	2,606	2,631	2,575	2,544	2,630			
事業費・人件費の合計	千円	2,606	2,631	2,575	2,544	2,630			

### 3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
インセンティブによる減免額	単位	目標	-	139,000	90,972	156,414	216,281	216,281	各種インセンティブの実施により減免した金額を累計します。
	千円	実績	130,918	156,414	179,687	216,281			
	達成率(%)		-	112.5	197.5	138.3			
	単位	目標							
		実績							
達成率(%)									
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項
必要性	組合関与の必要性	有・ <input type="radio"/> 無							
	目的・水準の妥当性	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無							
	利用者などの対象者ニーズ	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無							
有効性	成果の達成度	有・ <input type="radio"/> 無							
	内容の妥当性	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無							
効率性	実施主体の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無							
	受益者負担の適正性	有・ <input type="radio"/> 無							
	経済性	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無							

### 4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	特殊事例(緊急対策など)を恒常的なインセンティブへ取り込む必要もあり、ある程度のコスト増は不可避であるため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
他港のインセンティブ実施状況、経済情勢や利用者ニーズ、実施効果や財政負担のバランスに注視しながら実施します。			